

より良い景観検討のためのカルテ（チェックシート）

記入年月日：令和 6 年 12 月 27 日

チェック担当課：公園緑地課

事業の概要		
事業名	高芝地区暫定緑地整備事業	
事業個所・対象地	川西市 東久代2丁目 地内	
事業期間	令和3年6月 ～ 令和6年3月	
事業の対象となる 公共施設等	☐ 道路 ☐ 橋梁 ☐ 河川・水路 ☒ 公園・緑地 ☐ 公共建築物等	
事業に含まれる要素 (個別指針より)	☐ 法面・斜面 ☒ 擁壁 ☐ 護岸 ☐ 舗装 ☒ 付属施設（防護柵、公共サイン） ☐ 建築物	
構想・計画段階（各事業共通）		
項目1	景観形成の指針を把握する。	
項目2	共通指針（全体指針A-1～A-5、B-1～B-5）の内、本事業で特に配慮する指針と具体的に配慮する事項を記入する。	
	(例) B-3	(例) 当該地の景観特性を入念に調査し、計画に反映させる。
	A-1	・検討初期段階から地元協議を行い、地域ニーズに合わせた公園設計を行う。 ・地域住民による維持管理活動の支援を積極的に行う。
	B-3	・周辺環境に違和感を与えないように、施設配置、意匠等を検討する。 ・フェンス等において、落ち着きがある色を採用し景観に配慮する。

設計・施工段階 / 公園・緑地		
基本指針、共通指針、景観類型別指針を踏まえた「より良い景観検討のための景観配慮事項」への対応と、具体的に配慮・検討した内容を記入する。		
✓	より良い景観検討のための配慮事項	配慮・検討した内容
□	積極的な緑化修景等により、周辺市街地における「緑の拠点」の景観形成を図ることができる計画を探る。	該当なし
☑	園路は、土や石材、木材等の自然素材や落ち着いたきのある敷材を用いるなどして、周辺景観や園内の緑との調和に配慮する。	園路舗装は、大部分に土舗装を選定し、周辺景観との調和に配慮した。
☑	柵、照明柱等は、過度な装飾や高彩度色は避け、シンプルな形態、意匠とし、園内の緑景観や周辺景観との調和に配慮する。 【具体的配慮事項】 ・柵等の色彩 ダークブラウン 10YR2.0/1.0 程度	地元と調整の上、新たに設置する公園施設は、落ち着いた色彩を取り入れ、周辺環境に配慮した。 【具体的配慮事項】 ・ソーラー照明 アースグレー ・照明灯・ネット支柱・手すり シルバー（メッキ色）
☑	公共サインは、自然素材の活用や、シンプルで落ち着いた形態、意匠を検討することで、園内の緑景観との調和が図られる計画を探る。	シンプルなデザインとし、周囲に配慮した。
□	ベンチなどの休憩スペースは、園内の緑景観や周辺景観を眺めることのできる視点場として、落ち着いたきのある空間となるよう配慮する。	該当なし
□	敷地内建築物は、自然素材の活用を検討するとともに、シンプルで落ち着いた形態、意匠を検討することで、園内の緑景観や周辺景観との調和が図られる計画を探る。	該当なし

維持・管理段階（各事業共通）		
項目 1	景観形成の指針を把握する。	
項目 2	共通指針（全体指針 A-1～A-5、C-1～C-4）の内、本事業で特に配慮する指針と具体的に配慮した（する）内容を記入する。	
	C-3	当初デザインの意図を踏まえた材料を用いて補修を行う。



